

農業者向け農作業安全研修 模 擬 内 容

令和4年2月16日

一般社団法人 日本農業機械化協会 気多 正

農業のイメージ

一般に「農業」と聞いて思い浮かべるイメージは・・・

労働・収入面は厳しいかも知れないけど
牧歌的、生命を育む、自然に親しむ、地方の良さ・・・
など

まず「危険！」と思う人はあまりいない、ところが

実際には農業は死亡率の高い、大変危険な産業なのです

Ⅰ 農作業事故は、あなただけではなく、家族や地域にダメージ

○ 被災者の想いを知ってください

千葉県在住 当時50歳代の男性

ロータリに巻き込まれ、右足の感覚が全くなくなった



実際の負傷の様子

【事故の原因】

- ・トラクターを小さな段差近くに停車したが、駐車ブレーキをかけずに降車した
- ・降車の際にPTOを切らなかった

【被災者本人のコメント】

「事故が起きるまで、全く危険の予測がつかなかった。普段通りの作業なので慣れており、危険はないものと思っていた。」

露地野菜中心、約2ha経営
JAの部会長を歴任し、ラジオ
出演経験もある地域の中心
的存在

事故をきっかけとして
本人が**離農**

・近所の親戚や妻が営農を引き継ぎ
・医療費（生命保険のみ加入）と
経営損失が大きな負担

※ 被災者本人が、自分と同じ目に遭う人を一人でも減らせればと願い、情報を提供してくれました

I 農作業事故は、あなただけではなく、家族や地域にダメージ（続き）

○ 農作業事故には様々な影響があります



農作業事故発生

○ 身心への影響

- ・ 治療や後遺症による肉体的なダメージ
- ・ 自分の過失に対する心理的・精神的なダメージ



労働力の減少・喪失

○ 経営への影響

- ・ 治療費の負担、休職中や後遺症による収入減少・債務増加、代替労働力の確保、新たな機械の調達等による金銭的なダメージ
- ・ 作業能力の低下、代替労働力が確保できない場合の作業停滞等による事業継続へのダメージ



最悪の場合、経営破綻
離農

○ 地域農業への影響

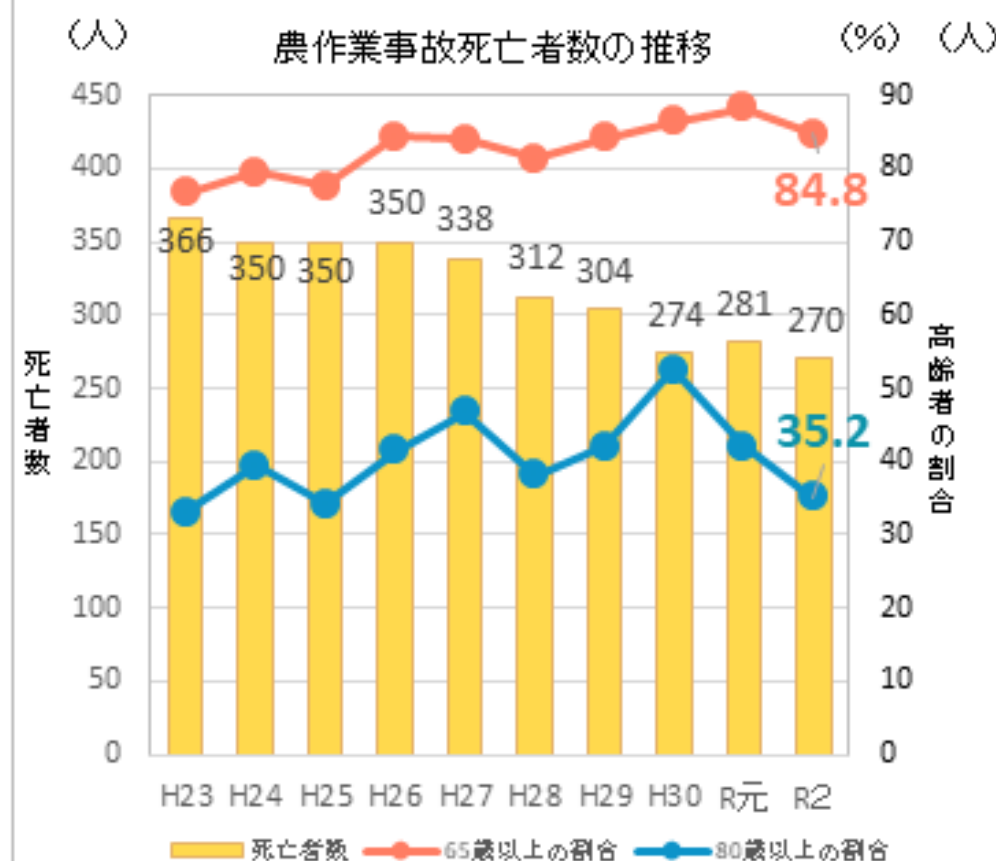
- ・ 離農した場合、農地を引き受けてくれる担い手が確保できなければ、耕作放棄地が発生するといった地域の未来へのダメージ

II 農作業事故は、あなたの身近に迫っている！

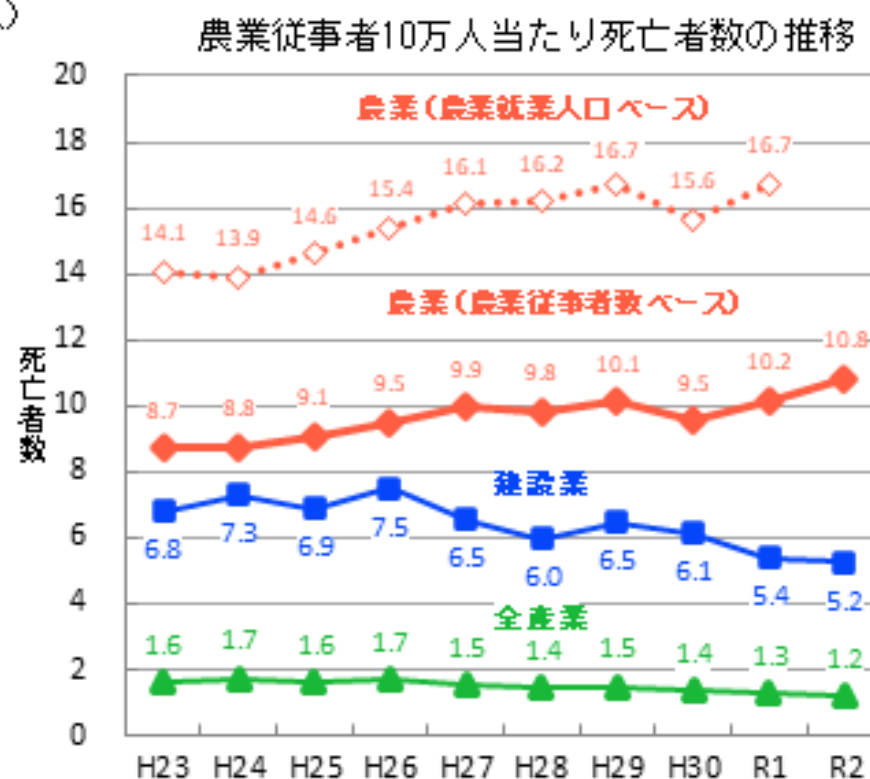
○ 農業は意外に危険な産業です

農業従事者10万人当たりの死亡者数は、建設業の約2倍程度となっており、全国で年間約300名近くの方が亡くなっています。

(注) 農業の就業人口10万人当たり死亡者数の算出に使用していた農業就業人口の調査が令和元年で終了したため、令和2年から新たに農業従事者数を使用し算出。



農作業死亡事故調査 (農水省)

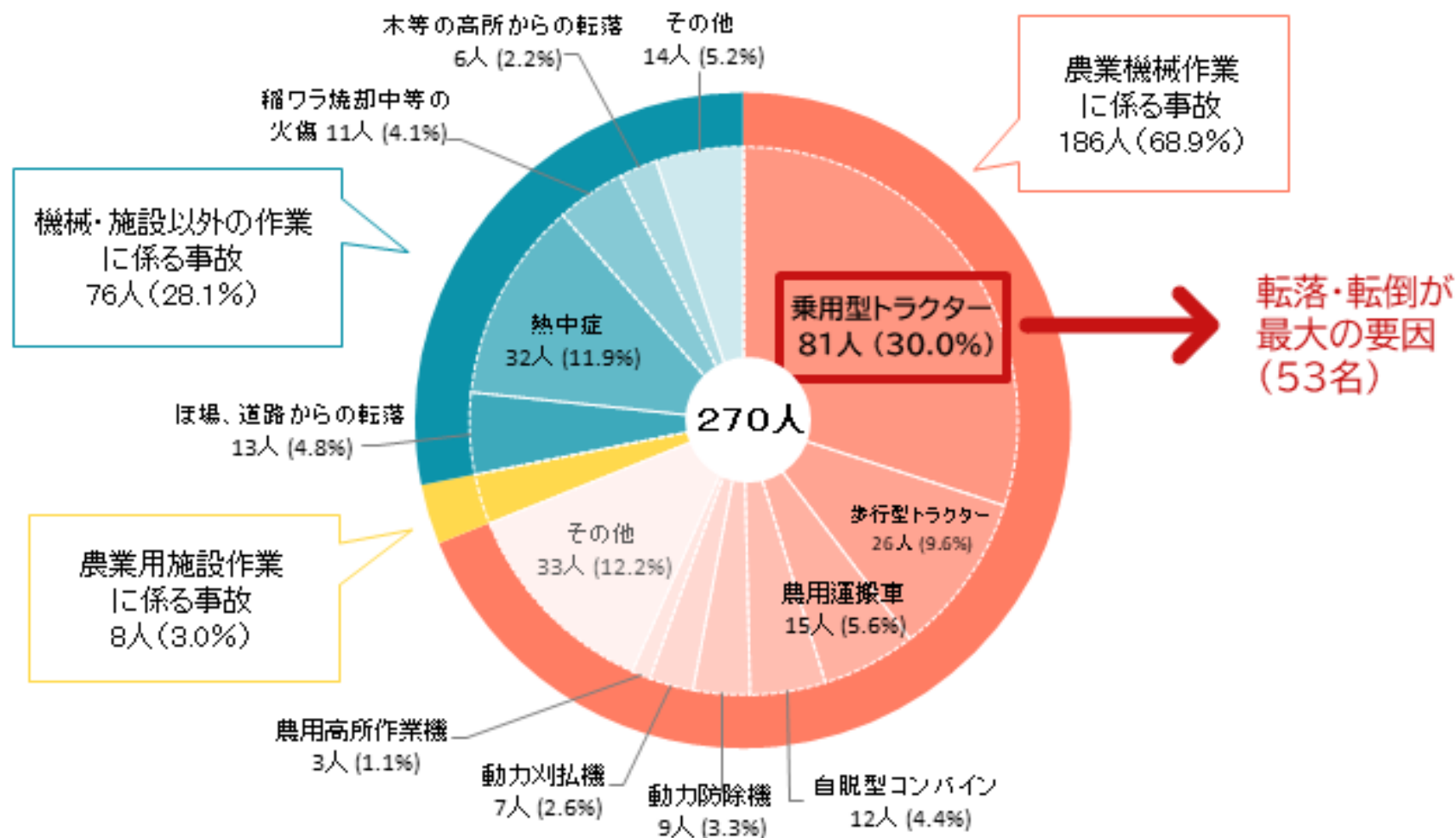


死亡者数 農業：農作業死亡事故調査 (農水省)
他産業：死亡災害報告 (厚労省)
就業人口 農業：農林業センサス、農業機械動態調査 (農水省)
他産業：労働力調査 (総務省)

II 農作業事故は、あなたの身近に迫っている！（続き）

○ 乗用型トラクターの転落・転倒で多くの方が亡くなっています

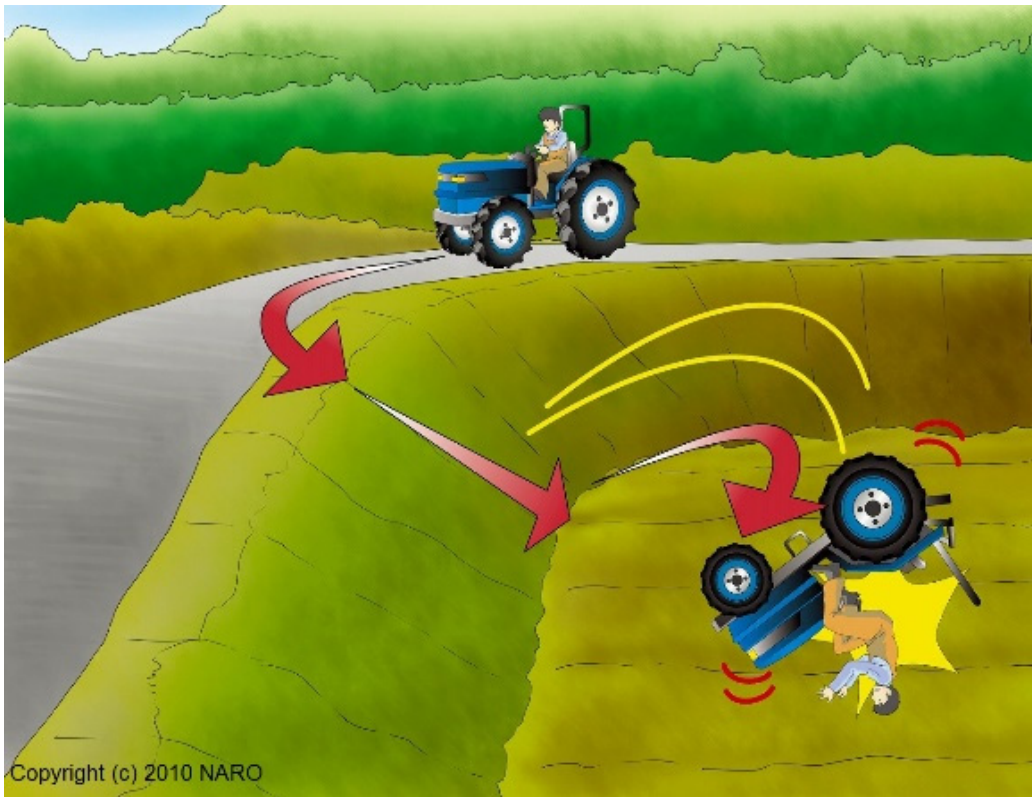
要因別の死亡事故発生状況（令和2年）



資料：農作業死亡事故調査（農水省）

III 乗用型トラクターでは、このような事故が発生しています 全て実例です

乗用型トラクターの転落事故



緩い下り坂で直角のカーブを左折時にブレーキを踏んだところ、左右独立のブレーキペダルを連結していなかったため、片ブレーキになって急旋回し水田に転落した。

シートベルトを装着していなかったので法面で投げ出されて重傷を負ったが、安全フレームを使用していたのでトラクターの下敷きにはならずにすんだ。

Ⅲ 乗用型トラクターでは、このような事故が発生しています（続き）

乗用型トラクターの転倒事故

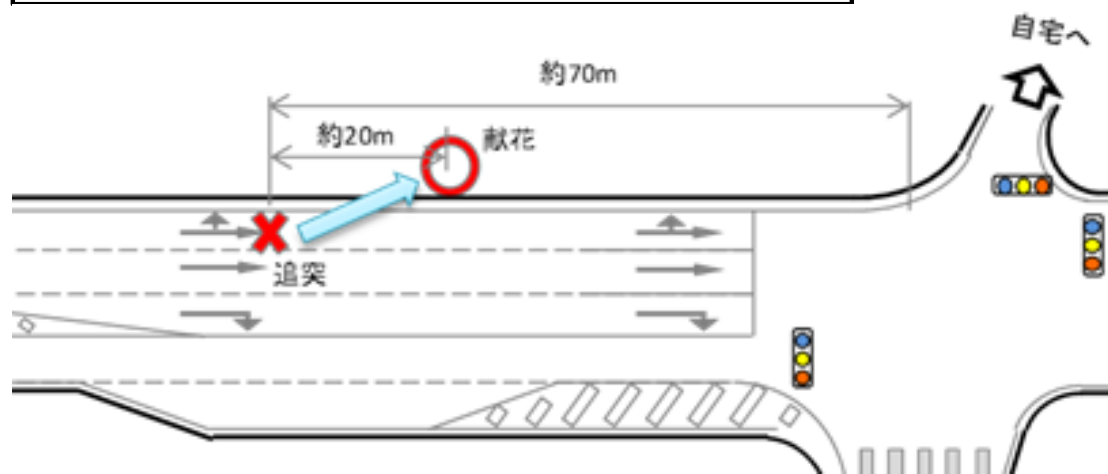


水田から道路へ出る時、ロータリーを上げた重心が高い状況で、高速で傾斜路に進入したため、前輪が持ち上がった。

あわててブレーキ（片ブレーキのまま）を踏んだところ、乗用型トラクターが左へ急旋回して横転し、シートベルトを装着していなかったので投げ出されて重傷を負った。

Ⅲ 乗用型トラクターでは、このような事故が発生しています（続き）

乗用型トラクターの被追突事故



事故付近現場見取り図

日没の約30分後、ブロードキャストを装着したトラクター（26PS、2柱式安全フレーム仕様）で帰宅していた。

国道の左側車線を走行中、乗用車に追突され、道路外に押し出されて側溝に転落。

被災者はトラクターから投げ出され、全身を強く打ち死亡。

投げ出されていることから、シートベルトを装着していなかったとみられる。



推定追突位置付近からの風景
(赤い四角部分がタイヤ痕等の位置)



Ⅲ 乗用型トラクターでは、このような事故が発生しています（続き）

事故の発生要因

- ロータリーを上げたまま傾斜路を走行する等、重心が高い状態への対応が不適切
- 走行速度が不適切
- 移動中にもかかわらず、左右独立のブレーキペダルを連結しないまま走行（高速で片ブレーキを踏む）
- 夜間、後続車に見えにくい状態で公道を走行

被害軽減のヒント

- 安全フレーム・安全キャブ装備機の使用
- シートベルトの着用
- 昼間、交通量の少ない道を走行
低速車マークの装着



低速車マーク

Ⅳ 乗用型トラクター事故における被害軽減に向けて

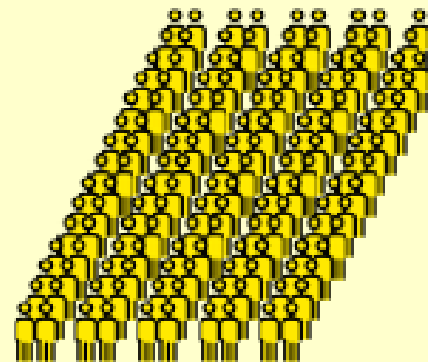
トラクター等の交通事故による死亡者数

シートベルト着用あり



3人

シートベルト着用なし



148人

※農耕車の公道での交通事故による死傷者計
（平成27～令和元年度合計：697人）の内数
（公財）交通事故総合分析センターの集計結果より作成

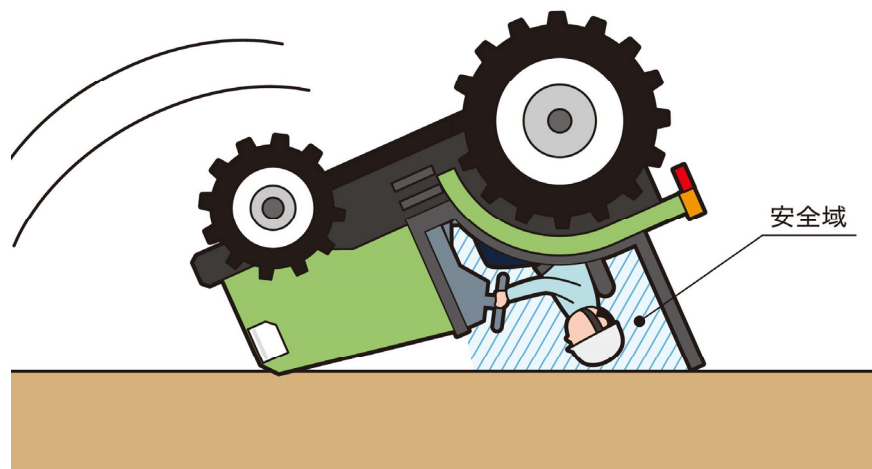
農耕作業用特殊車乗員のシートベルト着用の有無ごとの 死傷の状況 （平成27～令和元年）

	死亡者	重傷者	軽傷者	合 計
シートベルト着用	3 (3.2%)	10 (10.8%)	80 (86.0%)	93 (100%)
非着用	148 (24.5%)	175 (29.0%)	281 (46.5%)	604 (100%)
不明	5 (10.2%)	24 (49.0%)	20 (40.8%)	49
合 計	156	209	381	746

12.5%

（公財）交通事故総合分析センターの集計結果より作成

Ⅳ 乗用型トラクター事故における被害軽減に向けて（続き）



安全フレームを適切に使用し、シートベルトを着用していれば転落・転倒時に安全域にとどまれる確率が高い

ヘルメットをしていれば頭部損傷を軽減できる

死亡事故や重傷事故を防ぐため、安全フレームの適切な使用と、
シートベルト、ヘルメットの着用を徹底!!

講義を振り返り、農作業安全に関するそれぞれの取組目標（約束ごと）を定めてみましょう。また、それを実践するようお願いいたします。

